平成24年度　シラバス	学年・期間・区分	２年次 ・ 前期 ・ 選択
	対象学科・専攻	機械・電子システム，電気情報システム，土木工学専攻
ヒューマンインタフェース （Human Interface）	担当教員	新徳　健（Shintoku , Takeshi）
	教員室	情報工学科棟４階（TEL：42-9093）
	E-Mail	sintoku@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態／単位の種別／単位数	講義 ／ ――― ／ ２単位	
週あたりの学習時間と回数	〔授業（100分）＋自学自習（200分）〕×15回	

〔本科目の目標〕　ヒューマンインタフェースの考え方の基礎について理解する。

〔本科目の位置付け〕　ヒューマンインタフェースは工学だけでなく、その他の広い分野に関連のある学問である。柔軟な発想力を持って臨むことが必要とされる。

〔学習上の留意点〕　講義の内容をよく理解するために、毎回、配布プリント等を参考に、200分以上の自学自習が必要である。疑問点があれば、その都度質問すること。

〔授業の内容〕

授　業　項　目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. ヒューマンインタフェースの概要	2	□ ヒューマンインタフェースの原理と定義について説明できる	左の項目について図書館の文献やインターネット等を使って調べて，概略を理解しておく
2. 人間の特性とヒューマンインタフェース	8	□ 人の身体特性、生理特性、認知特性と感性について説明できる	配布プリントを一読し、内容を把握しておく
3. インタフェースの認知システム	2	□ ヒューマンモデル、ヒューマンエラーの分類とエラー解析について説明できる	配布プリントを一読し、内容を把握しておく
4. 入出力インタフェース	6	□ 入出力機器とのインタラクションについて説明できる	配布プリントを一読し、内容を把握しておく
5. インタフェース行動の心理・生理	4	□ 人の心理行動に関わる生理学的知識について説明できる	配布プリントを一読し、内容を把握しておく
6. インタフェースのデザインと評価	6	□ インタフェースデザインの指針、デザイン手法、評価手法について説明できる	配布プリントを一読し、内容を把握しておく
―― 定期試験 ――	2	授業項目1～6について達成度を確認する	
試験答案の返却・解説		試験において間違った部分を理解出来る	

〔教科書〕　なし

〔参考書・補助教材〕　授業時配布プリント
「ヒューマンインタフェースの心理と生理」、吉川榮和 編著、コロナ社

〔成績評価の基準〕　定期試験(80%)＋その他(小テスト・レポート等)(20%)－授業態度(上限20%)

〔専攻科課程の学習教育目標との関連〕　3-3

〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕　3-3

〔JABEEとの関連〕　(d)(2)a)

Memo